

地震による原子力被害から国民を守るために
原発ゼロ実現 爆音ゼロのために

原子力空母の横須賀母港を やめさせましょう



東京湾に浮かぶ原子炉
原子力空母ジョージ・ワシントン



「原発ゼロ！ 原子力空母はいらない」

請願署名にご協力ください

「原発ゼロ！ 原子力空母はいらない」署名推進委員会

参加団体●安保破棄中央実行委員会／神奈川県労働組合総連合／安保廃棄神奈川県統一促進会議／米原子力空母の横須賀配備を阻止する三浦半島連絡会／原水爆禁止神奈川県協議会／神奈川県平和委員会／新日本婦人の会神奈川県本部／神奈川県建設労働組合連合会／日本民主青年同盟神奈川県委員会ほか

連絡先：神奈川県労連 045 (212) 5855 / 安保廃棄神奈川県促進会議 045 (201) 3684 / 神奈川県原水協 045 (231) 6284

地震による原子力災害から国民を守るため 「原発ゼロ！原子力空母いらない」請願書

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願趣旨】

2011年3月11日、東日本大震災による福島第1原子力発電所事故が発生し、広島、長崎、ビキニに続き、また福島で放射能被害を引き起こしました。これは、根拠のない原発「安全神話」と「平和利用」の美名のもとに日本中に原子力発電所を作り続けてきたもとで引き起こされた人災とも言うべき事故です。福島第1原発に匹敵する原子炉2基を搭載し、原子力エネルギーを推進力とする原子力空母や潜水艦が横須賀を母港としています。これも日米政府の「空母・原潜は絶対安全だ」という「安全神話」によって配備されました。

原発や原子力空母の原子炉がひとたび事故を起こすと広範囲に放射能が飛散して環境を破壊し、人間の命と健康を長期にわたって脅かし続けることになります。

三浦半島の活断層による地震発生の確率が高まっている現在、地震による原子力空母事故が心配されます。原子力空母の母港、横須賀基地は想定されている大地震の震源域真上にあります。活断層の活動間隔から震度7程度の大地震発生の可能性が切迫していると文科省が発表しました。大地震が発生し、地盤隆起と津波によって原子力空母は、乗り上げ・座礁・転覆の危険にさらされ、原子炉の過酷事故が想定されます。それは、3000万人の住む首都圏住民が放射能被害にさらされ、多数の死者が出る可能性をはらんでいます。

また、空母の母港は、空母艦載機が厚木基地周辺などに爆音をまき散らす元凶となっています。

いま、首都圏の玄関、横須賀基地に原子力空母や原子力潜水艦が1年のうち300日以上も滞港していることを、このままにしていいいのかということがきびしく問われています。「原発ゼロ」の日本をめざし、もうこれ以上、被曝者をつくらないためには、原発と同じ原子炉をもつ原子力空母の母港撤回は避けて通ることはできません。

私たちは、地震による原子力災害から国民を守り、あらゆる放射能被害の根絶のため原子力空母の横須賀母港をやめることを強く求め、次の項目を請願します。

【請願項目】

地震などによる原子力災害から国民を守るため原子力空母ジョージ・ワシントンの横須賀母港をやめること。

名	前	住	所

【取扱団体】